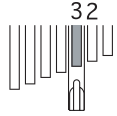


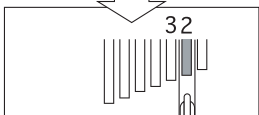
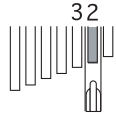
●ディレイラー(外装変速機)の簡単な調整

ローとハイの調整は出荷時に済ませておりますが、変速機がうまく切り替わらない、乗っていると不快な音をする、等の問題が生じた場合は、以下の調整を試みて下さい。

サード(3段目)に変速する場合



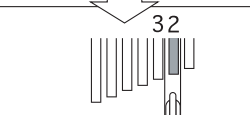
全く音鳴りがしない場合



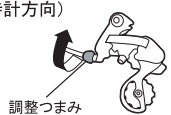
チェーンがセカンドに戻るまで調整ボルトをしめる(時計方向)



調整つまみ



サードギヤに接触し音鳴りがするまでボルトを緩める(反時計方向)

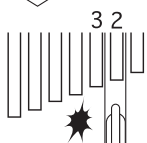


調整つまみ

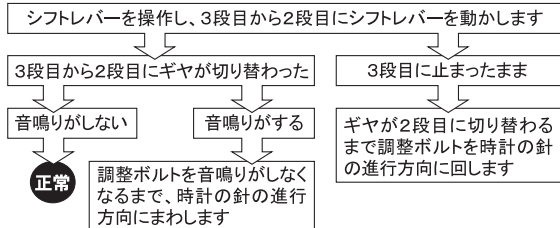
ベストセッティング

シフティングレバーをレバーの遊び分だけ操作した状態でチェーンがサードギヤに接触し、音鳴りする状態がベストセッティングです。

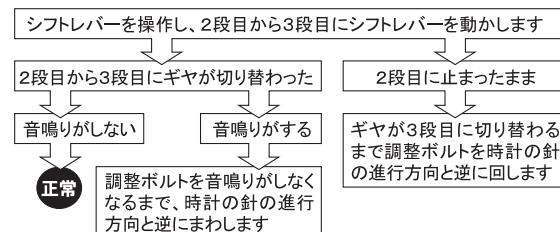
レバーをもとの位置に戻し(レバーはセカンドの位置でレバーから指を離した状態)、クランクを回転させて下さい。サードギヤと接触し、音鳴りが残っている場合は調整ボルトを少し締めて(時計方向)、音鳴りのしないぎりぎりのポイントで止めるようにして下さい。



【例えば、3段目から2段目にシフトアップする場合で考えてみます】

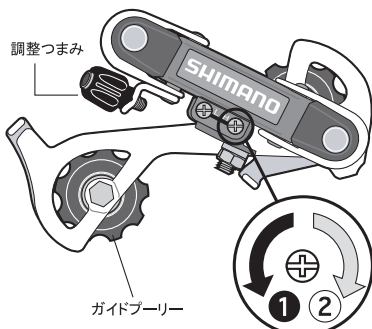


【次に、2段目から3段目にシフトダウンする場合で考えてみます】



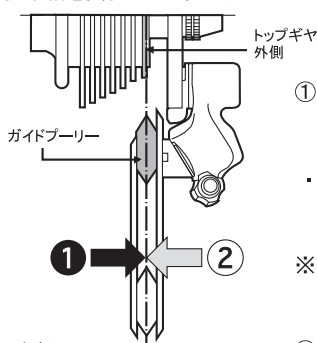
※ この調整は各ギヤごとに行ってください。また、調整ネジで調整しきれない場合はディレイラーをトップギヤ外側にし、調整ボルトを締め込み、再度変速ワイヤーを張りなおして下さい。外装変速機の調整は経験に左右されることが多いですから、何度かやってみるのが良いでしょう。

①トップ側の調整



トップアジャストボルト(「H」と記されています)

●後車輪を真後ろから見た図



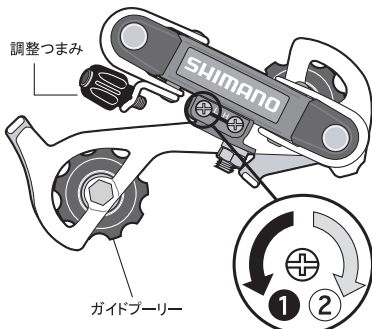
使用する工具:
プラスチックドライバー

① トップ側の調整は変速機を操作し、リアディレイラーが後車輪の一番外側のトップギヤに来るようにしてから、調整を始めて下さい。

・Hのネジをプラスチックドライバーで回し、ガイドプリーリーの中心とトップギヤの外側が一直線上に並ぶように調整して下さい。

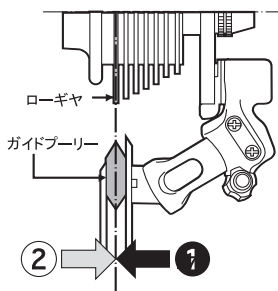
※ トップ側へチェーンが外れるときは、トップ調整ボルトを締めて下さい。

②ロー側の調整



ローアジャストボルト(「L」と記されています)

●後車輪を真後ろから見た図



② 変速機を操作し、リアディレイラーが後車輪の一番内側のローギヤ(軽いギヤ)に来るようにしてから、調整を始めて下さい。

・Lのネジをプラスチックドライバーで回し、ガイドプリーリーの中心とローギヤの中心が一直線上に並ぶように調整して下さい。

※ ロー側へチェーンが外れるときはロー調整ボルトを締めて下さい。

※ ロー側へ入りにくいときは、調整つまみをゆるめて下さい。



ディレイラーの調整は必ずペダルを回している状態で行って下さい。ペダルを回さない状態では絶対に調整をしないで下さい。